

反英抗爭新段階へ

暗殺團射殺

を懸けて、一人當りの能率を擧げたのに對する結果を察し、三百六十萬圓の國庫券が中心となり各都府愛國隊が参加することよつて、數千萬なることよつて、數百萬なる

[illegible]

減少率、中央割三、地方割二

[illegible]

八月末までに具體案

情報局發表

【東京電】情報部、職員、商人を通じこれを進行せしむること
（一）三月三十一日までに、各地方官廳に於て、現行の「
（二）三月三十一日までに、各地方官廳に於て、現行の「
（三）三月三十一日までに、各地方官廳に於て、現行の「

[illegible]

南支の精銳、北江渡河

〔南朝群衆九日開戦〕 栗原公の遺族は八日、後北庭の駐屯地において、一面を旗を掲ぐる敵軍と、雙面を掲ぐる我軍とに、密かに突撃し、自國邊境に常駐の萬勇將士を陸、體の勇壯なる一撃、滅戰を展開する。同時に、順直布衣南庭の線に殺到。同河の敵前渡河を敢行して、同七時七分、分家に敵前渡河、據點蘆苞を完全に占領し、之を蘆苞に殺到せる敵軍の合戦に、水運に便して、交通、聯絡の便物、物々を、集積、盛んとなつて、また、南庭を我第一線の防禦地として、置くる。敵軍は、敵前渡河の謀略、條件は、この地を據守して行はれたものであつた。南庭を

海軍部隊 浙贛作戦協力

[illegible]

谷 情 報 局

時局に 適

の事務を能く限り開
びるとともに、人員
増強に努むる。又、

総裁
 從にわたつて西國なるものが國貨
 の充實を期せんとするが爲め、
 はすて第八回青森縣の選出
 して明かにされたことであり、こ
 用する目的の國貨は、他國の貨物と
 先きに購買せられたもので、十九
 國貨の輸入上、補助金、補助金
 補助金より順次に、國內に並

局長會
 議席上 田中總監の訓示

馬鹿殿様をやめよ

局長會
議席上

田中總監の訓

小笠原
鐵を運
ある段等一同は三を左いし
ちと思ふ、総務輔佐の任に
あつた、その

頭、副平等によつて明かであ
る地方で國寶

小島(左)と
齋藤(右)
齋藤は、
九日初
官立兵隊から門下事業の強
力を分けたとなり、また閣内
派線になりとなり、また上
なり、私はかつてあやうな
事實に遭遇してあるか、或
破して終じ。現在我々生

が持つて居るべきものは、
あつた。それは實に如何に
強く明けてゐるかには毫葉
言明しを論議して夜更け
の陽氣も騒動する。長官
を差したといふことは、自分
の權限にならなくてはならぬ。
反對があるならば、これは打
つておしまふ。これは打ち

自衛を行はれた田中政務次
の訓示要英夫の週い
経管閣の統治による結果
方針は得られざる餘言、敵

の部長

小島(左)と
齋藤(右)

齋藤は、
九日初
官立兵隊から門下事業の強
力を分けたとなり、また閣内
派線になりとなり、また上
なり、私はかつてあやうな
事實に遭遇してあるか、或
破して終じ。現在我々生

して行政の綱領を力に執行する
 準備を進めつゝあるとの説明報告
 をなした、これによると劇朗とし
 ては言へる愛宕の綱領を執行に
 まで以上に真剣に事務を處
 理を倍加する氣魄をもつて
 ことに全力を注ぐものと云

船員去施行

[illegible]

七月一日より
近く協空
芳澤大伴

欲ひ、現存の我は生
 したやうなものである。自分
 といふやうに思ふ所が好か
 とはいへる。然し我は生
 存の爲めに、現存の我は生
 きたやうなものである。自分
 といふやうに思ふ所が好か
 とはいへる。然し我は生
 存の爲めに、現存の我は生

山西陽城南方に

廣東省政府

八日、廣州以密接匪情、乃作假中
わが荒山、中谷の各部隊は敵大
善米糶益を反還

敵遺棄死體四九六、捕
獲提品追撃砲三、重機

售米權益を返還

[illegible]

パナマ國籍
船攻撃さる

「リスボン十八日同盟」ワシントン
 へ電にによれば、アメリカ海軍はパナマ國境中、中絶一衝とホ
 ジラス國領小島附近一處がカ
 ンパにおいて無差別攻撃を受けた
 十八日發表した

理施行令

七月一日より實施

七月一日より實施
近く協定調印
芳澤大使西貢へ

近く協定調印

【サイゴン十九日同盟】日張露
義政府本年度實行協定は事務熟
一、二の點を殘すのみで交戦は
實に勝利を見るに至つた、よつ
芳澤大使は西貢へ
日午後一時半ハノイからサイブ
に飛來したが、一面日サイゴン
港在タラツトに駐きドクレー機

開始

となつた鐵道の御蔭を蒙る比喩
衆の福祉を増進するに努めてゐる
がこの程完了を見たので此處
軍では甘日を賜つて北線（マ
ラ、ダモル）に間一、二百二十

雞

國方
 を遂
 成強
 度を
 にた
 余の
 及分
 銅接
 府は
 三三

フキヲヨル
 冠
 蚊
 香

レコード音楽社

文部省推薦圖書

あらえびす著

大原田光子編

樂聖物語

トスニアビ

古のメナエットの音楽を

音楽青年の說

あらえびす三大名著

バツハから

東四郎著

上巻 定價二・八〇 下巻 定價二・八〇

シニールベルト

名曲解説全集

上巻 定價一・〇〇 下巻 定價一・〇〇

ロマン派の音楽

レコード音楽社

文部省推薦圖書

あらえびす著

大原田光子編

樂聖物語

トスニアビ

古のメナエットの音楽を

音楽青年の說

あらえびす三大名著

バツハから

東四郎著

上巻 定價二・八〇 下巻 定價二・八〇

シニールベルト

名曲解説全集

上巻 定價一・〇〇 下巻 定價一・〇〇

ロマン派の音楽

レコード音楽社

文部省推薦圖書

あらえびす著

大原田光子編

樂聖物語

トスニアビ

古のメナエットの音楽を

音楽青年の說

あらえびす三大名著

バツハから

東四郎著

上巻 定價二・八〇 下巻 定價二・八〇

シニールベルト

名曲解説全集

上巻 定價一・〇〇 下巻 定價一・〇〇

ロマン派の音楽

レコード音楽社

文部省推薦圖書

あらえびす著

大原田光子編

樂聖物語

トスニアビ

古のメナエットの音楽を

音楽青年の說

あらえびす三大名著

バツハから

東四郎著

上巻 定價二・八〇 下巻 定價二・八〇

シニールベルト

名曲解説全集

上巻 定價一・〇〇 下巻 定價一・〇〇

ロマン派の音楽

レコード音楽社

文部省推薦圖書

あらえびす著

大原田光子編

樂聖物語

トスニアビ

古のメナエットの音楽を

音楽青年の說

あらえびす三大名著

バツハから

東四郎著

上巻 定價二・八〇 下巻 定價二・八〇

シニールベルト

名曲解説全集

上巻 定價一・〇〇 下巻 定價一・〇〇

ロマン派の音楽

レコード音楽社

文部省推薦圖書

あらえびす著

大原田光子編

樂聖物語

トスニアビ

古のメナエットの音楽を

音楽青年の說

あらえびす三大名著

バツハから

東四郎著

上巻 定價二・八〇 下巻 定價二・八〇

シニールベルト

名曲解説全集

上巻 定價一・〇〇 下巻 定價一・〇〇

ロマン派の音楽

レコード音楽社

文部省推薦圖書

あらえびす著

大原田光子編

樂聖物語

トスニアビ

古のメナエットの音楽を

音楽青年の說

あらえびす三大名著

バツハから

東四郎著

上巻 定價二・八〇 下巻 定價二・八〇

シニールベルト

名曲解説全集

上巻 定價一・〇〇 下巻 定價一・〇〇

ロマン派の音楽

[illegible]

年五月廿日
四月廿三日
三月廿六日
二月廿九日
一月廿二日
十二月二十五日
十一月二十八日
十月三十一日
九月二十四日
八月二十七日
七月三十日
六月二十九日
五月二十二日
四月二十五日
三月二十八日
二月二十九日
一月三十一日

[illegible][illegible]

人小、4
小引手書通 受取人小引手書通
附テ
十七年六月十日
ルベシ

五月五日 晴
 六月六日 晴
 六月七日 晴
 六月八日 晴
 六月九日 晴
 六月十日 晴
 六月十一日 晴
 六月十二日 晴
 六月十三日 晴
 六月十四日 晴
 六月十五日 晴
 六月十六日 晴
 六月十七日 晴
 六月十八日 晴
 六月十九日 晴
 六月二十日 晴
 六月二十一日 晴
 六月二十二日 晴
 六月二十三日 晴
 六月二十四日 晴
 六月二十五日 晴
 六月二十六日 晴
 六月二十七日 晴
 六月二十八日 晴
 六月二十九日 晴
 六月三十日 晴

[illegible][illegible][illegible][illegible]

人小、4
小引手書通 受取人小引手書通
附テ
十七年六月十日
ルベシ



品質を誇る

カネボウの化粧品

ク
リ
ー
ム
化
粧
乳

ム
水
液

ボ
ン
シ
ャ
ン
プ
ー

マ
ー
ド
フ
ケ
取
油
セ
ツ
ト
ロ
ー
シ
ヨ
ン
水

白
粉
紅
天
瓜
粉

白
粉
紅
天
瓜
粉

[illegible]

